

（課題名） 心房細動アブレーション患者における左房低電位領域の

存在とアブレーション後脳卒中の関連の検討

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

心房細動は脳卒中の主要な要因です。左房低電位領域は心房心筋症と関連しており心房心筋症は血栓塞栓症の原因として知られていますが、左房低電位領域と脳卒中の関連は明らかになっていません。本研究の目的は心房細動アブレーションを施行された患者において左房低電位領域と脳卒中との関連を検討することです。

【対象】

当院にて心房細動に対して初回カテーテルアブレーションを施行し術中の左房低電位領域マッピングおよび術後の経過観察を行った患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

心房細動アブレーション後脳卒中と左房低電位領域との関連を検討し、結果は関連学会等における発表や論文により公表します。

【調査項目】

- ①患者背景・手技背景
- ②心房細動カテーテルアブレーション後最大5年間の観察期間での脳卒中・死亡と左房低電位領域との関連の検討(2022年12月までの観察期間で後方視の評価を行う)
- ③心房細動カテーテルアブレーション後最大2年間の観察期間での心房細動再発と左房低電位領域との関連の検討(2022年12月までの観察期間で後方視の評価を行う)

なお必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2014年12月1日から2022年12月23日まで

【利用する者の範囲】

関西労災病院 循環器内科 増田 正晴

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 循環器内科 増田 正晴

【研究期間】

実施許可日から 2026 年 4 月 30 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

増田 正晴

関西労災病院 循環器内科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-Mail: masuda101@gmail.com